

・いわぬま・

市議会だより

～平成24年6月定例会・7月臨時会～

2012・9
第117号



主な内容

- ◆6月定例会の概要・主な議案など…………… 2～3
- ◆一般質問 …………… 4～9
- ◆7月臨時会の概要 …………… 9
- ◆追跡!Before After…………… 10
- ◆みんなの議会 …………… 11
- ◆政務調査費収支報告、編集後記など …………… 12

そこそこ～!いいよお～!
案内役はわたしです

こばと幼稚園のスイカ割り。
ふたりで協力して挑戦です。
おいしいスイカ、早く食べたいなあ。
(平成24年7月17日撮影)

6月定例会

6月12日から
6月21日まで

集団移転に関する請願を不採択

概要

岩沼市議会の6月定例会（平成24年第4回議会）は6月12日に招集され、10日間の会期で開かれました。

24年度一般会計補正予算（第2号）では、玉浦西地区防災集団移転促進事業経費、市道沿線盛土等事業費等が計上されました。

審議の結果、一般会計・各種会計補正予算や監査委員の人事案件など18議案を原案通り可決、承認、同意しました。

一般質問は、15名の議員が行い、市政、教育行政についていただきました。

「集団移転に関する新たな候補地について」の請願審査は、まず、日曜日を含む2日間、岩沼市議会震災復興推進特別委員会で行いました。請願者から話を聞くなど審査を重ね、採決の結

台風状況報告

市長より、6月19日から20日にかけての台風4号の接近に伴う、岩沼市の状況について報告がありました。

岩沼市を含む県内全域に大雨洪水警報、暴風・波浪・高潮警報が発令され、さらに土砂災害警戒情報が発表されましたが、市職員の市内巡回や情報収集、押分排

議員の発言

須藤功議員の6月19日一般質問で、岩沼市の防災集団移転を取り上げ「国の同意を得て市が集団移転先としている」恵み野土地区画整理組合と話し合いをしていない」との発言があった

被災者への減免を継続

主な議案

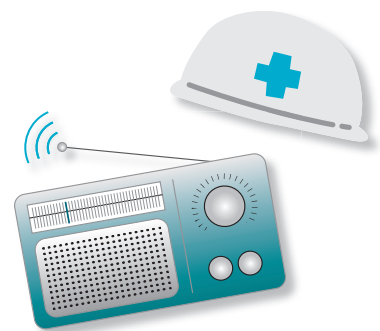
◆議案第40号 東日本大震災による災害被害者に対する岩沼市国民健康保険税の減免に関する条例

◆議案第41号 東日本大震災による災害被害者に対

する岩沼市介護保険料の減免に関する条例（全部改正）

東日本大震災により被災した国民健康保険被保険者の国保税、及び介護保険被保険者の介護保険料を被災状況に応じて減免するもの。

水機場の運転などにより対応した結果、大きな被害は



確認されなかったとの報告がありました。
台風4号の通過による、降り始めからの総雨量は86ミリ、最大瞬間風速は25・7メートルを記録しました。

意見書

◆意見書案2号 消費税増税に反対する意見書

国においては、不要不急の予算・事業を見直し、大企業への行き過ぎた減税を是正するなど、国民の立場に立った財源見直しを追求し、消費税増税を行わないよう求めるもの。（否決）

◆意見書案3号 国民健康保険制度における国庫負担の増額を求める意見書

国庫負担割合の引き上げを行うとともに、国保財源基盤の拡充・強化を図ること。特に低所得者層に対する負担軽減策を拡充・強化するとともに、低所得者を多く抱える保険者への支援を強化することを求めた。

◆意見書案4号 基地対策予算の増額等を求める意見書

基地交付金の対象



人事

◆人権擁護委員

鎌田 壽信 氏
委員
千葉 宗久 氏

資産を拡大すること、補助対象施設及び範囲の拡大等の適用基準のさらなる緩和を図るよう求めた。

請願

◆**請願1号** 集団移転に関する
候補地についての請願

◎ 請願者

◎請願者 菊地清氏、小
林健一氏、長田信一氏
※ 請願1号は、岩沼市

議会震災復興推進特別委員会に付託、審査しました。委員会では、請願者から意見を伺った上で、市執行部・紹介議員から説明を受けました。

採決の結果、不採択すべきものと決し、本会議においても、委員長報告の通り不採択となりました。

陳情

◆陳情3号 要望書

◎陳情者 東北大学職員
組合執行委員長

◆陳情4号

らない東日本大震災被災者の医療費自己負担免除の継続を求める陳情書

◎陳情者 宮城県保険医療協会理事長

平成24年第4回(6月)定例会

○…賛成、×…反対

議案番号	会派名・議員氏名 審議した議案等	改革・公明 初心		市民ネット トワーク		岩沼政策 フォーラム					共産党	日本 いわぬま 未来	い わぬま アシスト	い わぬま 功	審議結果				
		大友	長田	酒井	森	沼田	国井	櫻井	佐藤	佐藤									
		幸次	克寿	忠広	信幸	一民	健一	宗和	隆	一郎						淳一	孝内		
承認 1 号	専決処分・岩沼市市税条例（一部改正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 につき 表決権 があり ません。 （※1）	○	○	○	○	○	○	原案承認	
承認 2 号	専決処分・岩沼市都市計画税条例（一部改正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案承認
承認 3 号	専決処分・岩沼市国民健康保険税条例（一部改正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案承認
承認 4 号	専決処分・平成 23 年度岩沼市一般会計補正予算（第 8 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案承認
承認 5 号	専決処分・平成 23 年度岩沼市介護保険事業特別会計補正予算（第 4 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案承認
承認 6 号	専決処分・平成 23 年度岩沼市公共下水道事業特別会計補正予算（第 7 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案承認
議案 38 号	市の境界変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 39 号	字の区域を変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 40 号	東日本大震災による災害被害者に対する岩沼市国民健康保険料の減免に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 41 号	東日本大震災による災害被害者に対する岩沼市介護保険料の減免に関する条例（全部改正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 42 号	岩沼市印鑑の登録及び証明に関する条例等（一部改正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 43 号	岩沼市火災予防条例（一部改正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 44 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	適任	
議案 45 号	平成 24 年度岩沼市一般会計補正予算（第 2 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 46 号	平成 24 年度岩沼市公共下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 47 号	平成 24 年度岩沼市特別都市下水路事業会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 48 号	平成 24 年度岩沼市水道事業会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 49 号	岩沼市監査委員の選任につき同意を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
意見 2 号	消費税増税に反対する意見書	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×	○	否決	
意見 3 号	国民健康保険制度における国庫負担の増額を求める意見書	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
意見 4 号	基地対策予算の増額等を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
請願 1 号	集団移転に関する新たな候補地についての請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	不採択	

平成24年第5回(7月)臨時会

[illegible]

一問一答方式による



一般質問

被災者支援対策



櫻井 隆

問 昨年の東日本大震災による津波の被害で、多くの防災用品を失った。自主防災組織に対する支援対策を要望するがどうか。

市長 防災用品がなくなつた状態では活動に支障が生まれると思いますので、必要な防災用品の支援を行う方向で検討します。

伐採後の検討結果は

問 昨年の9月定例会において、居久根²伐採後の植栽方法について質問したが、検討結果を伺う。

市民経済部長 東京大学の報告書の中では、被害を受けた居久根の木の種類調査結果までで、今後植えるべき木の種類についての提言は頂いていません。今後相談をさせていただきながら、指導を受けていきたいと思っています。

問 植林に対する助成制度はあるのか。

市長 個人所有の植栽については、該当する助成制度を今調査・研究していますので、なお検討させていただきます。

問 居久根伐採後の切り株撤去に対して、環境省の補助事業の中の東日本大震災に関する災害等廃棄物処理事業の取り扱いメニューを適用できないか。

市民経済部長 樹木に関しては、倒れる危険性がある場合は対象になりますが、切り株については助成制度の対象にはなりません。



居久根と切り株

？居久根² 特に冬の北西からの風を防ぐ防風林として、屋敷の西側・北側に配置される。主な樹木は、スギやヒノキなどの針葉樹や果樹などである。

火葬場の建設



大戸 幸次

問 用地選定をどのように進めるか伺う。

市民経済部長 平成22年度に新火葬場の候補地を公募し、5地区の応募がありました。選定検討委員会において、いずれの地区も適地でないという結論でありました。結果を踏まえ選定条件の見直しを行い、再度、公募により適地を選定したいと考えます。

機種選定どのように

問 機種選定をどのように進めるか伺う。

市民経済部長 現段階では火葬炉の形式や構造等に関して、機種の選定方法はまだ検討していません。これから検討ということになります。ですが、火葬炉には台車式とロストル式の2形式があります。最近の火葬炉は、岩沼市の火葬炉と同じ台車式が主流です。

問 本体工事の着手と竣工

の年次計画について伺う。

市長 平成25年度には住民の皆さんのご理解を頂き、基本構想、そしてプロポーザルの委員会を設け、基本設計、パブリックコメント、そして実施調査といった形で25年度中に進められればと思います。



市営火葬場

防災対策



佐藤 淳一

問 防災無線屋外拡声子局を増設し、情報伝達範囲を広げるべきと思うがどうか。

市長 平成22年度には北長谷公民館、そして23年度が玉浦公民館、矢野目集会所、

寺島公会堂ということで設けてきていますが、今年度につきましては、阿武隈川ということで早股地区や根方、志賀の土砂災害の可能性があるところをまず進めていきたいと考えます。



屋外拡声子局

中央部の取り組みは

問 市中央部の自主防災組織率が66・6%と他地域に比べて低いが、組織率向上に向けてどのような取り組みを考えているか伺う。

市長 市内75町内会のうち、59町内会では自主防災組織が設立されています。未組織の町内会につきまして、防災課職員等が直接出て、必要性を説明しながら設立促進を図っているところなんです。あらためて自主防災組織をできるだけ早いうちに全ての町内会で結成していただけるように努力をしていきたいと思っています。

ふるさと納税制度の活用



布田 一民

問 震災前に、岩沼の米や野菜などが被災地以外に流通され、医療、福祉関係にも貢献してきた経緯があるので、応益負担の原則があってもよいのではないかと。そのことから、まちづくりの再生に、寄附金を震災復興に活用すべきではないか。

市長 震災からの復興ということが非常に大きい課題です。行政運営に当たっては、税収や交付金等々対応しなければなりません。震災の寄附金とは別に、直ちに活用できるよう対応したいと思っています。

問 ふるさと納税制度のホームページを見ると、次世代に受け継ぐ大切さは伝わるが、岩沼市の震災の状況が伝わっていない。そこで、市の現状を伝え、支援を頂くことが大切ではないか。

市長 伝えるよう努力し、ふるさと納税につながればと思います。

ミニチュアで復元を

問 玉浦6地区の皆さんが暮らしていた街並みが消えてなくなつた。私は、このままではいいと思わない。市民が暮らした風景や街並みを「ミニチュアで復元する事業」を立ち上げて、子どもたちに残し、コミュニティーの一環としてもすべきではないか。

市長 被災をされた街並みを表したミニチュアで復元をすることは、十分考えなければならぬご提案だと思います。

防災無線（屋外拡声子局）の整備・改善



松田 由雄

問 現在の防災無線装置は、市役所5階の防災課にある。夜間などに駆けつける時間を考えれば、消防署で対応することが効果的ではないか。

総務部長 今年度の事業として、消防署からも放送を

行うことを可能にする統制台遠隔制御装置の設置を予定しています。



防災無線装置

問 気象庁からの情報を自動的に受け入れて対応できるシステムの構築を行うべきではないか。

総務部長 現在、Jアラート、防災ファクス等の各種災害情報受信機器を通じて、自動的に受け入れることができる体制を整えています。

強風時の試験訓練を

問 災害を想定し風向きを考えながら、台風、強風時にも試験訓練をすべきではないか。

総務部長 月1回程度は音を出してみ、悪天候時など、さまざまな気象条件のもとでも試験放送ができる

よう検討します。

問 津波逆流予報のために、阿武隈川沿いに防災無線の設置を検討しているのか。

市長 より迅速な避難指示等の伝達が重要であり、今後計画的に防災無線を整備したいと思っています。

？ JアラートII 消防庁が整備した全国瞬時警報システムの通称。

放射能対策の前進を



渡辺ふさ子

問 農産物の放射能測定は、測定時間の延長や測定容器をマリネリ容器に変更する等、検出限界値を下げるべきではないか。

市長 市民の皆さんの安心のためにぜひ検討してみたいと思います。

増水時の取水対策は

問 水道水の安全・安心について、大雨、台風など増水時の取水対策を伺う。

水道事業所長 阿武隈川の

水位が4・5メートルを超える恐れがある場合にはゲートを自動監視で閉鎖しています。



玉崎浄水場取水ゲート

問 阿武隈川からの取水を止めてほしいという声がある。市長の見解を伺う。

市長 水道水中の放射性物質は不検出ですので、危機管理面、水道料金等を勘案し、2系統での体制維持が望ましいと考えています。

問 子どもの尿検査など継続した健康調査が必要ではないか。

健康福祉部長 県の有識者会議では、科学的・医学的な観点から現状では健康への悪影響は考えられないという見解であり、市でも必要性はないと考えています。

問 校庭や家庭菜園などの土壌検査を行ってはどうか。

市民経済部長 土壌検査については対応する考えです。

問 市内の土壌測定マップをつくってはどうか。

市民経済部長 今の時点で土壌測定マップの作成は考えていません。

？マリネリ容器IIゲルマニウム半導体検出器のセンサー部分がすっぽり入るようなくぼみを設けた測定容器。

高齢者支援



長田 忠広

問 地域全体で支え合う、「小地域福祉活動」の進捗状況を伺う。

健康福祉部長 現在のところ地域支え合い事業の活動拠点として、整備を予定しています。西部地区1カ所で展開されているところです。

今後につきましては、高齢者のための活動をされている団体等へさらに声掛けを行い、もう1カ所程度モデル地区を指定していきたいと考えます。

高齢者の肺炎予防を

問 (高齢者対象の) 肺炎球菌ワクチン予防接種助成制度を創設してはどうか伺う。

市長 市民の皆さんの、とりわけ健康に関わりあることですので、財源等を踏まえて、できるだけ早く検討し、具体的な方向付けができればありがたいと思います。

問 生きがいデイサービス事業を地域展開してはどうか伺う。

健康福祉部長 昨年度来利用希望者が増加しています。待機も出てきている状況です。したがって、設備や人員配置が整ったNPO法人等のご協力を頂きまして、生きがいデイサービス事業の地域展開を図っていききたいと考えます。

スマートシティ構想



飯塚 悦男

問 環境負荷の小さい次世

代都市スマートシティ構想の推進を目指し、宮城県では東日本大震災で被災した沿岸15市町で構成する連絡会議を設置した。市のまちづくりにとどのような形で生かしていくのか。

移転地のエコ計画は

問 集団移転地、玉浦西をエココンパクトシティにする計画とのことだが、進捗状況について伺う。

市長 まちづくりの検討会の中で議論が進められ、その方向性が示されて、あわせて市としてまちづくりを進めていきたいと考えています。検討会の中で、皆さんの理解を得て進めていきたいと思っています。

問 エココンパクトシティを検討委員会の中でどう位置付けしていくのか伺う。

市長 復興計画の中で位置付けしており、十分理解を得られるよう説明したいと思っています。

問 計画を進めるには市

民、企業、行政の連携が必要と思うが、市長の考えを伺う。

市長 住民の声を第一に考えますが、太陽光発電やコージェネレーションシステム等を導入するに当たっては、企業から提案を頂き、進めていきたいと思います。

防災訓練



酒井 信幸

問 実践的な避難訓練で、国、県等関係機関との連携をどのように図るのか。

市長 具体的になつていませんが、国、県、自衛隊、警察、消防、市内企業などに参加を呼び掛け、津波被害への対応を効果的に行うため、それぞれの機関が行う役割などの検証を行いたいと考えています。

児童・生徒の訓練は

問 玉浦小・中学校の児童生徒たちを含めた訓練を行うのか。

教育長 玉浦中学校も一つ



佐藤 一郎

東部地区の避難路整備

の会場になっています。まだ決定はしていませんが、玉浦中学校の教職員と生徒は全員参加することを考えています。

問 玉浦小学校の教職員と児童は対象にならないのか。

教育長 玉浦中学校は会場となっているので全員参加しますが、小学校の子どもたちは家庭から避難訓練に参加するよう考えています。

問 今回は津波の避難訓練を行うが、台風などによる土砂災害や風水災害等を想定した訓練も必要と思う。小まめに地域ごとの訓練を行う考えはあるのか。

市長 いろいろな災害の種類があります。市全体で行う形、あるいは自主防災組織等、あるいはもう少し広い地域で行う方法がありますので、今回実施する中で課題等を踏まえ、実の上がる訓練を行いたいと思います。

問 県道岩沼浜緑地線整備計画について、県道塩釜巨理線から仙台東部道路までの拡幅整備はどのようになっているのか。

市長 被災地ではいち早く避難路の整備を国、県等に働き掛けています。現在、仙台土木事務所で調査測量設計を実施しており、今後用地買収を行っていく予定と伺っています。

問 岩沼海浜緑地線はいつまで完成する予定か。

市長 玉浦西防災集団移転促進事業の進捗に合わせて、平成25年度末の完了と伺っています。

避難路の歩道整備を

問 市道本町早股線の避難路として、歩道を整備すべきではないか。

市長 沿岸部から避難する車両及び歩行者を市中央部へ誘導する避難路として、塩釜巨理線の交差点から市道押分中央線の交差点までの延長約2200メートルにおいて、片側歩道の整備を行うこととしています。

問 矢野目流通工業団地への通勤にも利用されている市道矢野目善願線の拡幅等

を今後検討すべきではないか。

市長 善願線は非常にいわく付きの道路です。一応市としては、平成6年度に拡幅改良の整備は完了しています。避難路として整備する場合は、岩沼市域を越える道路であるため、広域的な協議が必要だと思います。



市道矢野目善願線

東日本大震災



大友 健

問 集団移転に関する個別面談2回目の結果を伺う。土地購入、土地は借地、災

害公営住宅など選択肢A、B、C、D、Eの比率は。

市長 まだ未集計です。まとまり次第、報告します。

問 質問通告から1週間たつ。通告の意味がない。

市長 最終的に集計していません。通告制とこの問題は別です。だいたい7割の回答です。

計画に影響ないのか

問 昨年12月の第1回面談とどう変化したか、数値の話ができない。移転計画に影響はないのか。

市長 大きく狂うことはありません。特別、問題はありません。

問 集団移転先はどこも複数だが、なぜ岩沼はそうではないのか。

市長 まずは計画の集団移転を早く具現化したいと考えます。また、5世帯以上そろってまとまるとすれば、市として十分対応したいと思っています。

問 千年希望の丘という人工構造物は、一種の環境破壊ではないか。

市長 全く見解が違います。コンクリートではない環境に配慮した丘です。

被災地の復興のために



布田 恵美

問 市域で震災からの復興・復興が進む中、地産外消（地域で生産したものを外に発信する）施策を伺う。

問 見解の相違だ。一千年後に岩沼があるか、私は否定的だ。がれき利用の度合いにブレはないか。

市長 ブレしていません。千年先まで震災を思い続けるための「よすが」なのです。



千年希望の丘のモデル（空港南公園）

市長 国の制度も活用し、農業関係団体とも話し合いをしながら、一步一步前進していかなければならないと思います。

制度創設で後押しを

問 岩沼市として、復興の途上を知っていただく意味合いも兼ねて「(仮称)心の岩沼市民税」を創設し、地域の農産品、企業の後押しとなるような事業を展開していつてはどうか。

市長 この提案を取り組むことにより、農業、商業を含め、復興に向けて加速できると思いますので、十分に検討したいと思います。

問 宮城県は来年、観光デスティネーションキャンペーン、今年はプレ企画を行う予定である。岩沼市としても、これまでの取り組みも生かし、新たな展開でのイベントを検討してにぎわいに活用してはどうか。

市長 いろいろな行事の中で、少しでも呼び掛けができるよう努力してみたいと思います。

問 JR岩沼駅前広場の完成後、その中にあるイベントスペースでにぎわいイ

ベントを検討してはどうか。
市長 商工関係団体、市民グループのイベントに対して、可能な限り市として協力、支援をしていきたいと思っています。



整備中の岩沼駅前

玉浦小学校校庭の整備計画



森 繁男

問 校庭の地盤変動はどの程度あったのか。

教育長 玉浦小学校校庭の地盤変動につきましても、確かにありました。しかし校庭に大きな段差はできて

いませので、程度は軽微な変動であったと思います。

降雨時に備え計画は

問 降雨時の排水が悪いが整備計画について伺う。

教育次長 正門の入り口付近の排水が悪いことは承知しています。地盤沈下があったという情報もありましたので多少影響があると思います。確たる証拠はありませんが、そのような事実がありますので整備を進めたいと考えます。



玉浦小学校東口

問 震災で心に傷が残る子どももいると思う。子どもたちの心のケアになるような明るい校庭をつくってはどうか。

教育長 「学校の復興なく

して地域の復興なし」と言われています。その通りだと思っています。夢あこがれプロジェクトも4年目に入りますが、夢をしっかりと持って、それを実現するため

努力する子どもを育てているわけですので、教職員には笑顔で子どもたちに対応するよう言っています。確かに暗い部分もあります。励ましの心を入れたような校舎、校庭もいいのではないかと思っていました。今後学校と相談の上、さらに明るい学校を目指し努力したいと思っています。

して地域の復興なし」と言われています。その通りだと思っています。夢あこがれプロジェクトも4年目に入りますが、夢をしっかりと持って、それを実現するため

東日本大震災発生時の検証



大友 克寿

問 震災から1年3カ月を経過した今、復興へ進むとともに、震災発生当時の対応について検証が必要と考えるが、避難誘導はどうであったか。

市長 地域防災計画に基づいた初動活動体制として、住民が安全かつ迅速に避難

できるような関係機関が連携して避難先への円滑な誘導に努める、ということに対応したと感じています。

検証記録はあるのか

問 避難誘導に関する検証記録はあるのか。

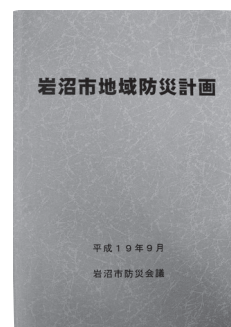
総務部長 職員からのヒアリングも含め、当時どのような対応をとったかについて、時系列で整理を行っているところです。

問 連絡体制と連絡手段の確保はどうであったか。

総務部長 防災行政無線に関しては、非常用の発電機を使用しながら電源の確保に努め、本部と現場の職員との連絡は支障なく行うことができたということです。

問 震災では職員が4名、消防団員が6名亡くなっているが、検証はしているか。

総務部長 (殉職された) 職員の現場での状況は、目撃者もなく、確たる調査はで



地域防災計画

きていない状況です。

問 検証記録をどうまとめ
ていくのか。

総務部長 地域防災計画を
今年度中に見直すよう目標
を立てているので、早く情
報を収集して計画に生かし
たいと考えます。

集団移転



須藤 功

問 仙台市は民間が行って
いる土地区画整理組合の所
有している保留地を買い上
げて、集団移転の希望者に
割り振っている。そこで、
集団移転者、被災者などの
ような話をしたのか。

市長 仙台は仙台でやり方
があるわけで、岩沼は岩沼
です。我々としては大前提
として、これまでのコミュ
ニティーを崩さないように
し、できるだけ早く対応し
たいです。

「玉浦西」の利便は

問 玉浦西地区に移転され

る方のメリット、優位性と
いうか、利便性は何がある
のか、具体的に聞くと。

市長 国の補助制度に基づ
いて集会施設、あるいは公
園等の公共施設、さらには
福祉施設等の公益施設用地
の確保と施設整備ができ
る。それが最大のメリット
ではないかと思っています。



玉浦西地区周辺

問 買い物のスーパーとか
医療関係の病院とか、そう
いうところもなければ利便
性にはほど遠いのではない
か。買い物ができるような
ところも誘致する考えはあ
るのか。

市長 大前提としてお考え

違いではないでしょうか。
市の方でお願いしていると
いうわけではなく、地域の
皆さん方の要望を、できる
だけ受け止めてやっている
わけです。中には集団移転
は権利だとか言う人もお
られるが、権利とか義務と
いうことではないです。

その他の一般質問

櫻井 隆

▼65歳以上のスポーツ施設
利用料の無料化

穴戸 幸次

▼防災計画の見直し

佐藤 淳一

▼広告事業

松田 由雄

▼孤立死（孤独死）対策

渡辺 ふさ子

▼高齢者福祉計画

長田 忠広

▼通学路の安全対策

酒井 信幸

▼災害公営住宅

佐藤 一郎

▼防災教育

▼東日本大震災復興誌の作成

大友 健

▼岩沼駅前整備

布田 恵美

▼東部道路の活用

森 繁男

▼東部地区のまちづくり

▼東部地区の農業対策

大友 克寿

▼三軒茶屋西地区への集団
移転促進事業

▼ICT（情報通信技術）
を活用した行政運営

須藤 功

▼駅連絡通路の改札口時間
延長

7月臨時会

7月27日

集団移転用地取得等を可決

岩沼市議会の臨時会（平

成24年第5回議会）が7月

27日に開かれ、防災集団移

転促進事業（玉浦西地区）

に係る用地の取得及び工事

請負契約（東日本大震災復

興交付金事業防災集団移転

促進事業玉浦西地区造成）

2件について、全会一致で

可決しました。

主な議案

◆議案50、51、52号 財産

の取得、工事請負契約の

締結

3件とも玉浦西地区への

防災集団移転に関する用地

取得及び工事請負契約に関

するもの。取得する用地は、

金額が約8億2300万

陳情

◆陳情5号 災害復興に伴

う移転ならびに都市構想

に関する要望書

◎陳情者 恵み野西の景

観を愛する有志の会代

表

円、面積は約18万4600
平方メートル。造成工事の契約金
額は、第1工区が19億63
50万円、第2工区が14億
2800万円。造成工事は、
平成25年7月末完了予定で
す。

追跡!!

あれはどうなった？

ビフォー

アフター



質問 防災行政無線増設を

緊急時の市民に対する伝達方法として、防災行政無線屋外拡声子局の増設を要望するが、今後の計画を伺う。
(平成23年9月定例会一般質問)

答弁 まずは玉浦公民館に

現在、玉浦公民館に屋外拡声子局の整備を進めており、10月から運用開始できる見通しになっています。まずはそれを検証して、どの程度の増設なのか、どの場所に必要なのか、今後十分に検討します。

そして今は…

現在、4カ所（北長谷公会堂、玉浦公民館、寺島公会堂、矢野目地区集会所）に設置されました。今後も逐次、屋外拡声子局の増設を行っていく予定です。



(寺島公会堂)

市内4カ所に防災無線を設置
復興への一歩、被災者が開店

質問 買い物しやすい策を

仮設住宅にお住まいの買い物弱者対策について、商工会と連携しながら対応してはどうか。
(平成23年6月議員全員協議会質疑)

答弁 何かの便宜図りたい

できるだけ買い物とか何かの便宜が図られるよう検討中です。

そして今は…



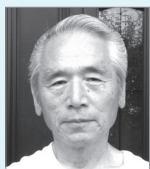
平成24年3月31日、市民会館向かいの東仮設住宅敷地内に被災者の方が経営し、被災者の方々が働く和風ファーストフードの店がオープンしました。

期待しています！

みんなの 議会



議会の存在



星 一男さん
.....
早股高原

問題意識を共有して

議会是我们市民にとって、市政に意見を反映できる大切な存在です。市民が議会での議員の発言を注視し、それに対しさらに意見を表明していく関係になれたらいいなと思います。

議員には私たちの声を吸い上げる努力をしていただきたいと思います。最近、学校でのいじめと自殺が話題になっています。学校と教育委員会の対応もひどく、心が痛む事件です。未来の社会を支える子どもたちをこんなことで失いたくはありません。

岩沼においても、市民、学校、議会、市が問題意識を共有して対応していこうではありませんか。

私もひとこと

議会の情報



阿部寿子さん
.....
早股西須賀原

新しい手段を考えて

議会は平日のため傍聴することが難しい方が多いと思います。でも土、日にとわれても、果たして傍聴するか問われても、「NO」と答える人が多いと思います。

ラジオ放送やインターネット配信なら自分の都合のよい時間に利用することが可能です。議会で何が行われているかを広くそして正確に知ってもらうためにも、ラジオやインターネットの利用を考えるべきではないでしょうか。議員が今何に力を入れ、どういう結果になったのか。多くの市民に議会の情報を得る機会をつくるのも大切なことだと思います。

傍聴席から

6月議会 (傍聴者数78)
7月議会 (傍聴者数 2)

50代 男性	60代 男性	70代 女性	70代 男性	60代 男性	30代 女性	70代 男性
厳正で真摯な会議で、市に対する議員の熱い思いを感じた。	各行政区に防災無線の設置を！岩沼市は少なすぎる。	広報を読むより分かりやすく、早く傍聴したら良かったと思います。傍聴することによって市政の様子が分かるように思った。	議員が質問しているのに、他の議員は集中していない。	一票の重み、市民の思いを忘れずに尽力してほしい。	市民のための議会とは感じられず、市長のための議会と感じた。	声が低い人や口をよく開かない人がいて、内容が分からない人が多かった。

平成23年度

政務調査費 収支報告

岩沼市では、議員の調査研究のために必要な経費の一部として、議員1人当たり年額8万円の政務調査費を交付しています。

岩沼市議会では、毎年4月末までに全ての支出について領収書等の写しを添付し、議長宛て収支報告書を提出することを義務付けています。

収支報告や研修報告書は、市議会ホームページに掲載していますので、どうぞご覧ください。

(単位：円)

会派等	人数	交付額 (A)	支出額 (B) ※右の①～ ⑤の合計	支 出 内 訳					不用額 (A-B) ※市へ返還
				①調査 研究費	②資料 購入費	③広報費	④広聴費	⑤事務費	
改革・公明・初心	4	53,332	39,255		34,995			4,260	14,077
市民ネットワーク	2	0	平成23年度分の政務調査費の交付申請を行っていません。						
岩沼政策フォーラム	6	0	平成23年度分の政務調査費の交付申請を行っていません。						
未来いわぬま	2	26,666	8,280	8,280					18,386
日本共産党	2	0	平成23年度分の政務調査費の交付申請を行っていません。						
いわぬまアシスト	2	26,666	53,927			49,927	4,000		0

※議員改選前（平成23年4月～24年1月）は、東日本大震災に伴う災害復旧への活用を期待し、政務調査費の全額（133万円）を辞退しました。改選後（24年2月～3月）については、上の表の通りです。

各部会で活動進む

震災復興推進特別委員会

議会に設置されている「岩沼市議会震災復興推進特別委員会」では、市の震災復興計画に基づく各種事業の推進に対して提案・提言を行うため、三つの部会に分かれ、検討テーマについての調査活動を進めています。

現在、総務部会は「集団移転」について、教育民生部会は「放射能対策」について、建設産経部会は「排水整備」や「農業の再生と支援」についてを第一の検討テーマとして活動しています。

総務部会では、集団移転または個別移転などによる、被災者の住宅再建に対する支援策について調査研究を行っています。

教育民生部会では、6月25日に市内4中学校敷地内の空間放射線量を測定しました。植え込みや側溝の上、草地や腐葉土の上など、高い数値を示した場所もあったため、教育委員会や学校長に清掃等の対策を求めました。

建設産経部会では、農業復興のための支援を議題として、JA岩沼市・JA名取岩沼の方との意見交換会を開催し、被害状況や震災後の対応などについて何うとともに、議会への要望等を頂きました。

特別委員会の全体会議では、各部会からの報告を受けてとりまとめを行い、議会として集約できたものを、適宜提案・提言していきます。

編集後記

昨年の東日本大震災で発生した大量のがれき。被災地の早期復興のために迅速な処理が必要とされています。6月議会でも多くの議員が震災復興に関する一般質問をしました。

先日、ある自治体で、がれき受け入れ拒否の請願が採択されました。議員が民意を踏まえ行動するのは大事なことです。冷静な判断

一日も早い復興を！

をしなければならぬのではないのか。被災地の議員として考えさせられる請願採択でした。私たちも少数意見に留意しながら、議員としての経験や知識を生かし、現在ののみならず将来世代にも評価されるような判断をし、岩沼市の一日も早い復興とさらなる発展のため、議員一丸となり邁進していきたいと思えます。

議会報編集特別委員会